

原稿

「みやぶりメガネ」 作者 市村 瞳

- ㊦ 「あ〜くまさんのぬいぐるみ どこにいったかなあ。」
ひかりちゃんは おもちゃばこの なかを さがしています。
すると・・・
- ㊧ みたことのない はこ をみつけました。
「なんだろう、これ。」
はこには、みやぶりメガネ とかかれています。
さっそく ひかりちゃんは、はこを あけました。パカッ
- ㊨ すると なかから メガネがでてきました。
「わあ、こんなメガネ もってたっけ？」
- ㊩ ひかりちゃんは そのメガネをかけてみました。
- ㊪ そのとき、おとうさんが
「てじなを みせてあげるから おいで〜。」とひかりちゃんをよびました。
- ㊫ てじながじょうずな おとうさん。
ひかりちゃんは いつもどうなっているのか まるでわかりません。
ところがきょうは・・・
- ㊬ 「あ、わかった！」
なんと ひかりちゃんは てじなのタネをみやぶったのです。
「すごーい！もしかして この みやぶりメガネの ちから？」
- ㊭ うれしくなった ひかりちゃんは ちかくの おばあちゃんのおうちに メガネを
みせにいきました。
「おばあちゃ〜ん！」
- ㊮ ところが おばあちゃんは げんきがなく こまったようすです。
「どうしたの？」
すると おばあちゃんは いいました。
「さっき でんわがあってね。おばあちゃんのおかねが しらないひとに つかわれて
しまったらしいの。でもだいじょうぶ。いまから ぎんこうのひとがきて てつづきを
してくれるから。」

- ㊦ しばらくすると ぎんこうのひとが きました。
そのひとは「おかねをまもるため、キャッシュカードの かくにんをします。」
そうって おばあちゃんのカードを うけとりました。
それから どこかにでんわをしたり なにか かみにかいたりして、カードを
おばあちゃんに かえしました。
- ㊧ ところが そのとき、メガネがピカーンと ひかりました。
「みえたぞ、みえた。いま、にせもののカードと いれかえた！このひと、ぎんこうの
ひとじゃない！」
なんと ひかりちゃんは そのひとの しょうたいを みやぶったのです。
- ㊨ それをきいて そのひとは、あわててにげていきました。
「ひかりちゃん、ありがとう。もうすこしで だまされるところだったよ。」
「よかったね。おばあちゃん。きっとこのメガネのおかげだよ。」
とって ひかりちゃんが かおをさわると・・・
- ㊩ かけていたはずの メガネがありません。
もしかしたら、おばあちゃんを まもるために てんごくの おじいちゃんからの
おくりものだったのかもしれない。
メガネがなくても だまされないように どうしたらよいか、そのひ ひかりちゃんは
かぞくみんなで はなしあったのでした。